

巻頭言

光空間通信のメリット—電波利用と比較して—
.....中川正雄

総合報告

光ネットワーク時代における光空間通信技術の展望
.....松本充司

解説

LED 可視光高速通信の最新技術藤本暢宏
波長適応技術を用いた海中 LED 光無線データ通信
.....澤 隆雄
宇宙光通信の実用化に向けた開発.....豊嶋守生

最近の技術から

光空間変調素子を応用した屋外 LED 可視光通信技術
.....豊耕一郎

気になる論文コーナー

今後の特集予定

- 45 巻 3 号「高性能 LD を駆使した先端光源の進展」
- 45 巻 4 号「2015 年日本光学会の研究動向」
- 45 巻 5 号「発光現象：その果てしなきバリエーション」
- 45 巻 6 号「色覚バリアフリーに向けた技術開発の最前線」
- 45 巻 7 号「応用フェーズに向かう光時計」

注意という言葉は誰もが日常的に使っていると思います。しかし、注意の研究にはなじみのない読者の方も多いかも知れません。本特集で取り上げている視覚における注意（視覚的注意）とは、特に、人間が網膜への光刺激から有益な情報を効率的に知覚・認識するために備わった、情報の取捨選択の第一歩を担っている機能です。視覚的注意は、視覚に関する研究において、ここ 10 数年で最も多くの論文が発表され、理解が進んだ分野のひとつといえるでしょう。そして、情報のあふれる現代社会において、情報をいかに与え、人の行動を促し、安全・安心・快適な社会へつなげるか、その応用への期待も非常に高い研究分野であると感じています。

本特集では、多種多様なアプローチにより進められている注意の研究に関して、基礎から応用に至る各分野の第一人者の先生方に、それぞれの専門分野について最新の研究知見や今後の展望も含めてわかりやすく解説していただきました。この特集により、注意の研究が分野を超えてさらに総合的な理解へと進展すること、そして「光学」の読者であるさまざまな専門分野の方々にも注意の研究に深い関心をもっていただくことで、将来的な光学技術の新しい応用分野へと発展することを期待しています。

最後になりましたが、ご多忙中にもかかわらず、快くご執筆をお引き受けいただき、貴重な論文をご寄稿くださいました著者の皆様に心から感謝申し上げます。

(福田, 大館)

特集関連の原著論文を募集しています

「光学」では上記テーマの特集を企画しています。これに合わせて、特集テーマに関連のある原著論文を募集いたします。投稿締切は、当該特集号の発行月の4か月前の10日とします。

特集関連の論文については査読作業をより迅速化し、採択となった論文はその特集号の発刊に合わせて掲載するようにいたします。特集号を明記のうえご投稿ください。詳しくは「光学」編集局 kogaku@academic-j.co.jp にお問い合わせください。

日本光学会ホームページ <http://myOSJ.or.jp/>

光 学 2016 ©

第 45 巻 第 1 号 <月刊>

2016 年 1 月 10 日 発行

定価 1,500 円 (送料実費)

発行/ 一般社団法人 日本光学会

〒173-0004 東京都板橋区板橋 2-65-6

板橋区情報処理センター 5 階

E-mail: info@myOSJ.or.jp

印刷/ 大昭和印刷株式会社

「光 学」編集委員会

佐藤 学*	早崎 芳夫**、†	赤尾 佳則	石田 邦夫
井戸 哲也	居波 涉	小里貞二郎	川内 聡子
河野 裕之	瀬尾 学	鈴木 将之	竹内 晃久
谷口 敦史	鶴町 徳昭	永井 岳大	坂野 斎
福田 一帆	藤井 透	増田 浩次	水野真太郎
松田 融	室井 哲彦	山添 昇吾	山本 俊
山本 裕紹	吉田 剛洋	吉富 大	和田 健司†

*委員長 **副委員長 †光科学及び光技術調査委員長

編集局 岩崎 恵美

〒112-0002 東京都文京区小石川 2-23-11 常光ビル 7F

有限会社 学術新報社

電話 03-3816-3991 Fax 03-3816-3992

E-mail: kogaku@academic-j.co.jp